

J A 全農 ちば 営農情報集

2022

5

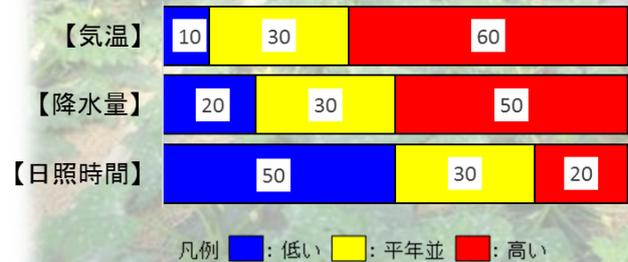
今月の情報

1. 水稲 本田殺虫剤と後期除草剤の使用上のポイント
2. 園芸野菜 病害虫防除情報・イチゴ育苗期ハダニ防除(IPM)
3. 果樹(ナシ)病害虫防除情報・ナシハダニ防除(IPM)
4. 農福連携による農業労働力支援
5. 安全な農作物生産の取組みについて～異物混入防止～

5月の気象について (気象庁4/28発表 長期予報 (1か月) から)

5月は気温が高く、降水量がやや多くなる予報となっています。病気・害虫ともに発生には十分に警戒しましょう。また、近年は気象の変化が極端化しております。急な高温などに注意し、適切な温度管理を実施しましょう。

(長期予報は毎週木曜 14 時 30 分に発表されます。週予報とともに確認し今後の栽培管理の計画を立てましょう)



<農薬の残留に注意！>

- ① 農薬の使用基準は守りましょう！
- ② 周囲への農薬飛散「ドリフト」対策を行いましょう！
- ③ 散布器具は毎回しっかりと洗浄しましょう！
- ④ 農薬散布記録簿への記帳は忘れずに！

注意とお願い

農薬登録内容は掲載時点の情報です。農薬を使用する際に必ず最新の登録内容をご確認ください。

水稲 本田殺虫剤と後期除草剤の使用上のポイント

J A全農ちば
営農支援部

1. 初期害虫の生態および防除対策

初期害虫対策のため箱施薬剤を使用した場合でも害虫の発生量が多いと防除しきれないことがあります。食害が多い場合は本田防除剤による追加防除を行いましょう。

(1) 初期害虫の特徴

① イネミズゾウムシ

体長3～4mm。年1回発生。
例年では4月下旬頃から飛来開始。
成虫は葉脈にそって細長く食害する。
幼虫は根を食害し初期生育を抑制する。



イネミズゾウムシ

② イネドロオイムシ

体長5mm。年1回発生。
成虫で越冬し5月以降飛来する。
成虫、幼虫ともに葉を食害するが、幼虫による被害が大きい。



イネドロオイムシ (成虫)



イネドロオイムシ (幼虫)

(2) 本田防除対策について

① 成虫 (イネミズゾウムシ・イネドロオイムシ) を中心とした防除対策
5月中～下旬に合成ピレスロイド系薬剤 (水面施用剤) を散布する。

・ トレボン粒剤 2～3kg/10a

② 幼虫 (イネドロオイムシ) を中心とした防除対策

※ 幼虫による食害が見られ始めたら「粉剤」に切り替えて散布する。

・ トレボン粉剤 DL (3～4kg/10a)、スタークル粉剤 DL (3kg/10a)

2. 取り残しの水田雑草対策

後期除草剤は残った雑草によって効果的な薬剤が異なるので、選択を間違えないよう注意しましょう。

(1) ノビエ及び広葉雑草などが残った水田

レブラス1キロ粒剤・ジャンボ

- ア. 使用時期：移植後14日～ノビエ4葉期ただし、収穫60日前まで
- イ. 使用方法：湛水散布。ジャンボ剤は水田に小包装（パック）のまま投げ入れる。
- ウ. 使用薬量：1キロ粒剤 1kg/10a
ジャンボ剤 小包装（パック）10個(400g)/10a
- エ. 特 徴：ノビエのほかコナギ、ホタルイ、クログワイ、オモダカ、コウキヤガラなど広範囲に効果を示す。

クリンチャーバスME液剤

- ア. 使用時期：移植後15日～ノビエ5葉期 但し、収穫50日前まで
- イ. 使用方法：落水散布または、ごく浅く湛水して散布。散布後3日間は入水しない。
- ウ. 使用薬量：1000 ml/10a
- エ. 散布水量：100ℓ/10a （100倍液）
- オ. 特 徴：ノビエに効果がある「クリンチャー剤」と広葉雑草に効果を示す「バサグラン剤」との混合剤。

アトトリ1キロ粒剤・豆つぶ250

- ア. 使用時期：移植後14日（稲5葉期以降）～ノビエ4葉期 但し、収穫45日前まで
- イ. 使用方法：湛水散布
- ウ. 使用薬量：1キロ粒剤 1kg/10a
豆つぶ剤 250g/10a
- エ. 特 徴：コウキヤガラ、オモダカなどの多年生雑草に対する効果高い。
ノビエも対象にする場合は、葉齢に注意し散布する。

(2) ノビエのみ残った水田 クリンチャー1キロ粒剤

- ア. 使用時期：移植後7日～ノビエ4葉期 但し、収穫30日前まで
- イ. 使用方法：湛水散布
- ウ. 使用薬量：1kg/10a
- エ. 特 徴：ノビエに効果を発揮。

(3) 広葉雑草のみ残った水田 バサグラン粒剤・液剤

- ア. 使用時期：移植後15～55日 但し、収穫60日前まで(液剤は収穫50日前まで)
- イ. 使用方法：落水散布または、ごく浅く湛水して散布。散布後3日間は入水しない。
- ウ. 使用薬量：粒剤：3～4kg/10a
液剤：薬量700ml・水量70ℓ・100倍液
- エ. 特 徴：対象草種は広葉雑草のみ。液剤はしっかりと茎葉散布処理をする。

園芸野菜 病害虫防除情報

J A全農ちば
営農支援部

1. はじめに

4月は気温が高く、降水量の多い気象となりました。5月も引き続き、気温は高く、降水量の多い予報となっていますので、圃場では病気も害虫も発生しやすい状況になりえます。秋冬ネギやサツマイモは栽培開始の重要な時期です、初期防除を徹底して実施しましょう。

2. ネギ〔定植準備:育苗トレイ〕

ネギでは、ペーパーポット等の育苗トレイ苗に対して灌注処理登録をもつ農薬が年々増えており、初期害虫に加えて黒腐菌核病の対策も可能になっています。ただし、黒腐菌核病対策は土壌消毒（ガスタード・キルパー等）、圃場 pH 値と排水性の改善、圃場での生育期防除を組み合わせることが重要です。

灌注処理剤は根から成分が吸収されて効果を発揮します。定植後からの効果を期待する場合は、使用時期が「育苗期後半～定植当日」の薬剤は、定植直前の処理ではなく定植3日～前日の処理がより効果的です。

○初期害虫 防除薬剤（灌注）

対象害虫 ※1	IRAC コード	薬剤名	使用量 ※2	使用時期	使用 回数
アザミウマ類	4A	スタークル顆粒水溶剤	50 倍	定植前日～定植時	1 回
ハモグリバエ類	28	ベリマークSC	400 倍	育苗期後半～定植当日	1 回
タネバエ	4A+28	ジュリボフロアブル※1	200 倍	育苗期後半～定植当日	1 回



アザミウマの被害



ハモグリバエの被害



ハモグリバエ成虫

○黒腐菌核病 防除薬剤（灌注）

対象病害	FRAC コード	薬剤名	使用量 ※2	使用時期	使用 回数
黒腐菌核病	7	パレード20フロアブル	100 倍	育苗期後半～定植当日	1 回

※1 ジュリボフロアブルの対象害虫はネギアザミウマ、ネギハモグリバエ、タネバエ

※2 散布水量は、セル成型育苗トレイ 1 箱またはペーパーポット 1 冊（約 30×60cm、使用土壌約 1.5～4L）あたり 0.5L

3. サツマイモ〔定植準備〕

(1) 病害対策

【つる割病】

土壌伝染性病害で苗の切り口や土中の茎、根部から感染します。株全体が萎れ、葉は黄～黒褐色になり落葉します。茎の地際部が縦に割れることが特徴です。クロルピクリン剤やガスタード微粒剤等の土壌消毒と併せて下記の苗消毒処理を実施しましょう。

【基腐病】

昨年、サツマイモ基腐病の発生が千葉県内で初めて確認されました。基腐病は、一度被害が発生してしまうと防除が非常に困難であるため、病原菌の圃場への侵入を未然に防ぐ、「持ち込まない」事が重要です。下記の苗消毒を必ず実施し、健全な生産を行いましょ。う。

本病の早期発見及び感染拡大の防止を図るため、万が一疑義株を発見した際には、速やかに最寄りの農業事務所までご連絡をよろしくお願いいたします。

○サツマイモ 定植苗防除薬剤

対象病害虫	薬剤名	使用量	使用時期	使用回数
つる割病 黒斑病 基腐病※	ベンレート水和剤	500～1000倍 20～30分間苗基部浸漬	植付前	1回
黒斑病 基腐病	ベンレートT水和剤20	200倍 30分間さし苗基部浸漬		

※基腐病：30分間苗基部浸漬

(2) 害虫対策

センチュウ類やコガネムシ類、ハリガネムシ類に対して、下記の粒剤による初期防除を行いましょ。う。後作のためにもD-D等による土壌消毒と併せた徹底した防除を行いましょ。う。

○サツマイモ ネコブセンチュウ防除薬剤

対象害虫	IRACコード	薬剤名	使用量/10a	使用時期	使用方法	使用回数
ネコブセンチュウ	1B	ネマトリンエース粒剤	15～20kg 10～30kg	植付前	作条土壌混和	1回
		ネマキック粒剤	15～50kg		全面土壌混和	
	7	ビーラム粒剤	20kg		全面土壌混和	

○サツマイモ コガネムシ・ハリガネムシ防除薬剤

対象害虫 ※3	IRACコード	薬剤名	使用量/10a	使用時期	使用方法	使用回数
コガネムシ類	4A	アドマイヤー1粒剤	6kg	植付前	作条又は 全面土壌混和	1回
		ダントツ粒剤	6～9kg			1回
コガネムシ類	3A	フォース粒剤※3	9kg			1回
ハリガネムシ類	2B	プリンスベイト※4	6kg	植付時	植溝土壌混和	1回

※3 フォース粒剤の対象害虫はコガネムシ類幼虫、ハリガネムシ類

※4 プリンスベイト：コガネムシ類対象の場合、植付前・全面土壌混和登録あり

いちご育苗期 ハダニ防除 ミヤコバンカー®の上手な使い方

ミヤコバンカー防除プログラム例



5月			6月			7月			8月			9月		
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
天敵導入前に徹底防除			ポット受け開始			ランナー切り離し 夜冷処理開始						定植		
			天敵放出期間											
			ミヤコバンカー設置(100個/10a)+チリカブリ2000頭放飼			チリカブリ2000頭補正放飼						モベントフロアブル灌注処理 ベリマークSC灌注処理		
*目安:親株4~6個にバンカー1個設置														

*ミヤコバンカーは、50パック規格を発売することとなりました。詳細はお近くのJAまでお問い合わせください。

いちご育苗期留意事項

いちご育苗期の灌水方法は、低水圧の散水チューブや、底面吸水マット、頭上灌水などを使用されますが、頭上灌水の場合、ミヤコバンカーシートの横置きは、水濡れダメージが生じる場合がありますので、割りばし又は竹ぐしを使用し縦置きで地表面から2cm~3cm浮かせて設置してください。

ミヤコバンカーの設置方法



*竹串(18cm)を活用した設置例



*竹製割りばし(20cm以上)を活用した設置例

*株元の葉陰に直立させて設置してください

*灌水チューブの水がなるべくかかりにくいように工夫してください。

ミヤコバンカー設置数の目安

子苗本数/親株	ミヤコバンカー設置数
20本	親株6株に1個ミヤコバンカーを設置
30本	親株5株に1個ミヤコバンカーを設置
40本	親株4株に1個ミヤコバンカーを設置

*10aあたり8000株定植の場合

子苗本数/親株	ミヤコバンカー設置数
20本	親株6株に1個ミヤコバンカーを設置
30本	親株4株に1個ミヤコバンカーを設置
40本	親株3株に1個ミヤコバンカーを設置

*10aあたり6000株定植の場合

JA全農ちば 営農支援部 営農技術普及課

果樹(ナシ)病害虫防除情報

J A全農ちば
営農支援部

1. はじめに

今年度は開花がやや早く、天候も悪い日が続いているため多くの園で防除がやや前進化しています。また、一部の園では果柄部に黒星病の発生が見られるなど、すでに病害の影響が生じつつあります。5月は気温が高く、降水が多い予報となっています。降雨が続いた場合には黒星病発生リスクも上がるので、下記を参考にして黒星病発生の懸念のある園では追加防除を実施しましょう。

2. 黒星病対策



【基幹防除】黒星病・心腐れ症・疫病などの総合予防

5月上旬 : ファンタジスタ顆粒水和剤 3,000倍 (前日/3回以内)
+ トレノックスフロアブル 500倍 (30日前/5回以内)

5月中旬① : ベルクートフロアブル 1,500倍 (14日前/5回以内)

5月中旬② : ユニックス顆粒水和剤 47 2,000倍 (21日前/3回以内)
+ ベルクートフロアブル 1,500倍 (14日前/5回以内)

5月下旬 : キノンドーフロアブル 1,000倍 (3日前/9回以内)

●ポイント

(1) 病斑の除去

果柄部や葉軸に黒星病の発生が見られる場合は摘果作業等と合わせて除去しましょう。

(2) 黒星病の臨機防除や、前進化した防除タイミングを戻すため追加防除を行う場合ユニックス顆粒水和剤 47 とベルコートフロアブルによる追加防除を実施しましょう。ユニックスは有機リン系殺虫剤(サイアノックス等)との混用は避けましょう。

(3) 防除効果を安定させるには散布水量も重要です。2500/10aを目安に様々な向きから農薬がかかるよう散布しましょう。特に降雨前や発生中の病害対策のため必要です。

3. アブラムシ類、ハマキムシ類、ニセナシサビダニ類

5月以降、アブラムシ類・チョウ目害虫・ニセナシサビダニが発生します。特にアブラムシ類・ニセナシサビダニは新梢・新葉をよく観察し、防除を行いましょう。

複数種の害虫防除では基幹防除（防除暦）を参考としますが、それぞれの臨機防除が必要な場合は下枠内をご確認ください。



アブラムシ類被害



ニセナシサビダニ被害

【基幹防除】アブラムシ類・ハマキムシ類・その他害虫防除

5月上旬 サイアノックス水和剤 1,000倍（無袋45日前・有袋7日前／3回以内）

5月中旬 コテツフロアブル 2,000倍（前日／3回以内）

〔臨機防除〕アブラムシ類、シンクイムシ類の発生が見られる場合。

マブリック水和剤20 2,000倍（30日前／2回以内）

【注意点】 コテツ・マブリック共に浸透移行性が無いため、既に葉が巻いてしまうと効果が発揮しにくい。その場合は下記の臨機防除対策を参照。

5月下旬 モスピラン顆粒水溶剤 2,000倍（前日／3回以内）

※新高、長十郎等の場合→ダントツ水溶剤2,000倍（前日／3回以内）もしくはアクタラ顆粒水溶剤2,000倍（前日／3回以内）のいずれかを散布

●アブラムシ類臨機防除

アブラムシ類の発生が続き、臨機防除が必要な場合はウララDF（2,000倍／14日前／2回以内）またはトランスフォームフロアブル（2,000倍／前日／3回以内）を選択しましょう。ただし、どちらもこの時期の対象害虫としてはアブラムシ類のみなので注意。

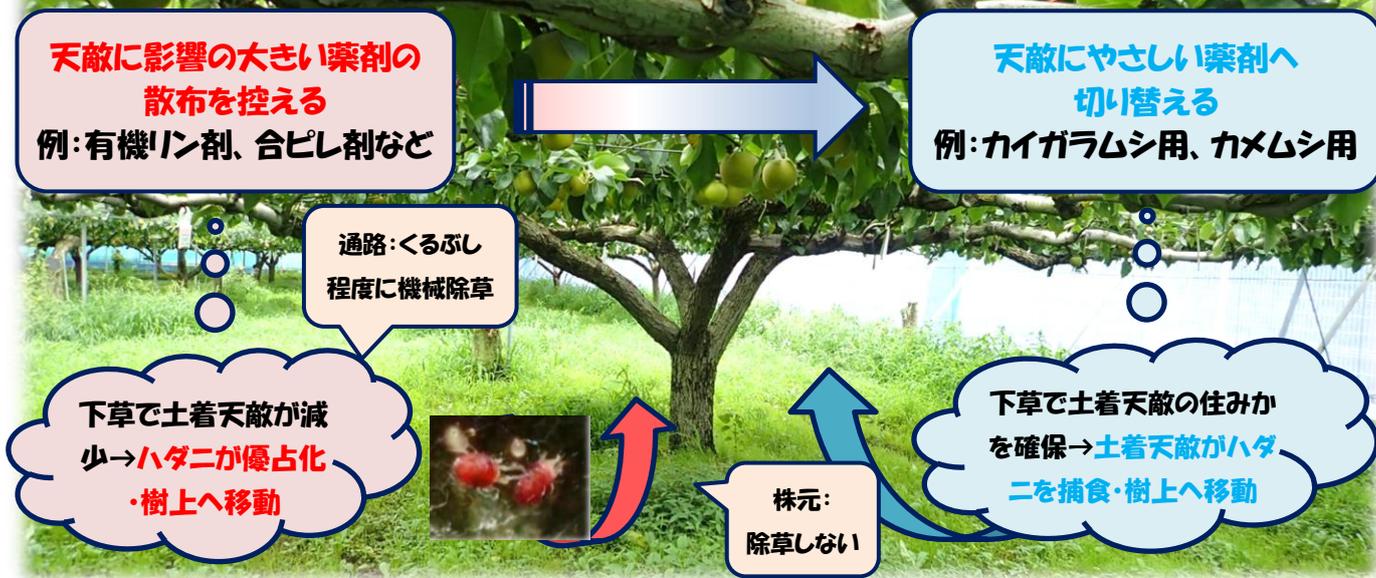
●チョウ目害虫の臨機防除

基幹防除のサイアノックス・コテツ・モスピランがチョウ目害虫防除を兼ねますが、発生が多い場合は、サムコルフロアブル10 5,000倍（前日／3回以内）の追加防除を実施しましょう。ただしチョウ目害虫のみが対象なので注意。

環境に負荷を与えない取り組み ～ナシ園でIPMに取り組みませんか！～

J A全農ちば
営農支援部

1. やることは天敵にやさしい薬剤に変えるだけ！ ※下記の散布モデルを参照してください



2. こんな方におすすめ！

- ・環境に負荷を与えないで害虫の防除ができる(効果がある)のであれば、取り組んでみたい。
- ・農薬の散布回数はできるだけ少なくしたい・収穫作業中は薬剤散布を控えたい。
- ・周辺の宅地化で薬剤散布は飛散が気になる。

3. 天敵（カブリダニ）に配慮した殺虫剤の散布モデル

時期	薬剤名	主な対象害虫	天敵への影響
4月 下旬	モベントフロアブル	ニセナシサビダニ、アブラムシ類 ※必ず新梢葉が展開してから散布する	×
5月	上旬 コンフューザーN ハチハチフロアブル	チャウ目 チャノキイロアザミウマ ※多発する場合に散布	○ ×
	中旬 コテツフロアブル	チャノキイロアザミウマ他	×
	下旬 モスピラン顆粒水溶剤	アブラムシ類、チャウ目、カイガラムシ類	○
6月	上旬 トランスフォームフロアブル	アブラムシ類、カイガラムシ類	○
	7月	ハダニ発生前の殺ダニ剤は控え ★梅雨明け前に…天敵製剤の設置「ミヤコカブリダニ剤」 ★梅雨明け後に…「カネマイトフロアブル」の補完的防除	チャウ目対策 ●発生初期に散布 ジアミド系剤（サムコルフロアブルなど）又はBT剤 ●コンフューザーN（7月中旬）
8月	中旬 合成ピレスロイド系（ロティー水和剤など）	チャウ目 ※シンクイムシ類対策	×
	下旬		

農作業安全 農機運転時、畦畔からの転落注意！

食の安全安心 農薬は専用のバケツで溶いてからタンクへ。

※ 本資料の無断使用・複写・転載を禁じます JA全農ちば

農福連携による農業労働力支援

J A全農ちば
営農支援部 営農企画課

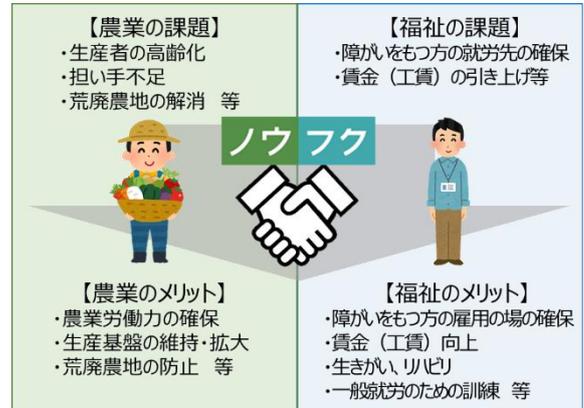
1. 福祉分野と農業の連携(農福連携)

農業と福祉が協力し、それぞれの分野が抱える課題を解決することで、地域共生社会の実現につなげていく取組です。

農業分野では新たな働き手の確保につながる可能性があります。また、作業の見直しによる効率の向上や経営規模の拡大など副次的な効果も多くみられます。

当県本部では、作業の一部を委託するスポット労働力として福祉との連携を進めています。

生産者と福祉事業所(就労を希望する障がいをもつ方々が集まり就労訓練等を行う場所)が作業委託契約を結び、農作業の一部を福祉施設へ作業委託します。その際、福祉事業所職員が必ず同行し、障がいをもつ方は同行した職員から指示を受けます。そのため生産者が障がいをもつ方へ直接指示を出すことはありません。作業前に仕事内容や注意点を福祉事業所職員に丁寧に伝え、どんな作業ができるのかしっかりと共有することが大切です。



2. 農福連携による作業委託のすすめかた



3. おわりに

農福連携に取り組むことで、幅広い人々が農業に触れる機会を創出し、農業をしてみたいという人材を一人でも多く生み出すことが地域の活性化につながります。

J Aグループは第29回J A全国大会(令和3年10月)で「豊かでくらしやすい地域共生の実現」を目指しています。当県本部は労働力不足を抱える地域の農業者と仕事ややりがいを求める多様な人材・組織が互いに助けあう仕組みづくりを進めていきます。

安全な農作物生産の取組みについて ～異物混入防止～

JA全農ちば
営農支援部

1. 食の安全・安心について

昨今の消費者の食の安全安心への関心は非常に高く、新型コロナウイルスの拡大によってその傾向はさらに強まっていると考えられます。これらに対するリスク管理が求められる中、農作物の食の安全安心のリスクのひとつとして“異物混入”が挙げられます。異物混入は発生頻度の高いリスクでもありますので、収穫や出荷場面において未然防止に努めましょう。

2. 異物混入を防ぎましょう！

ア. ハサミや包丁など収穫・出荷時に使用する道具の混入に注意しましょう



使用する道具の片付ける場所を決めましょう



器具類には番号・色付けをしましょう

イ. 虫やタバコ・ペットの毛・ペンなどが出荷物に入り込まないようにしましょう
異物混入の中では「虫」・「タバコ」の混入事例が多いです！！

虫を作業場に入れないように網戸などで防ぎましょう



スマホの混入事例も増加中です
ポケットはチャック付を選びましょう



作業場での飲食・喫煙は避けましょう
場所を分けることができない場合は、「作業時間」と「休憩時間」など時間で区切り、都度片付けましょう



ウ. 出荷用の資材は清潔に保ちましょう

出荷用の段ボールなどにはカバーをかけてホコリが被らないようにしましょう。また、汚れてしまった資材は使用を避けましょう。



**異物混入は気づかないところで発生してしまうことが多いです。
「入れない」ための予防を行いましょう！**